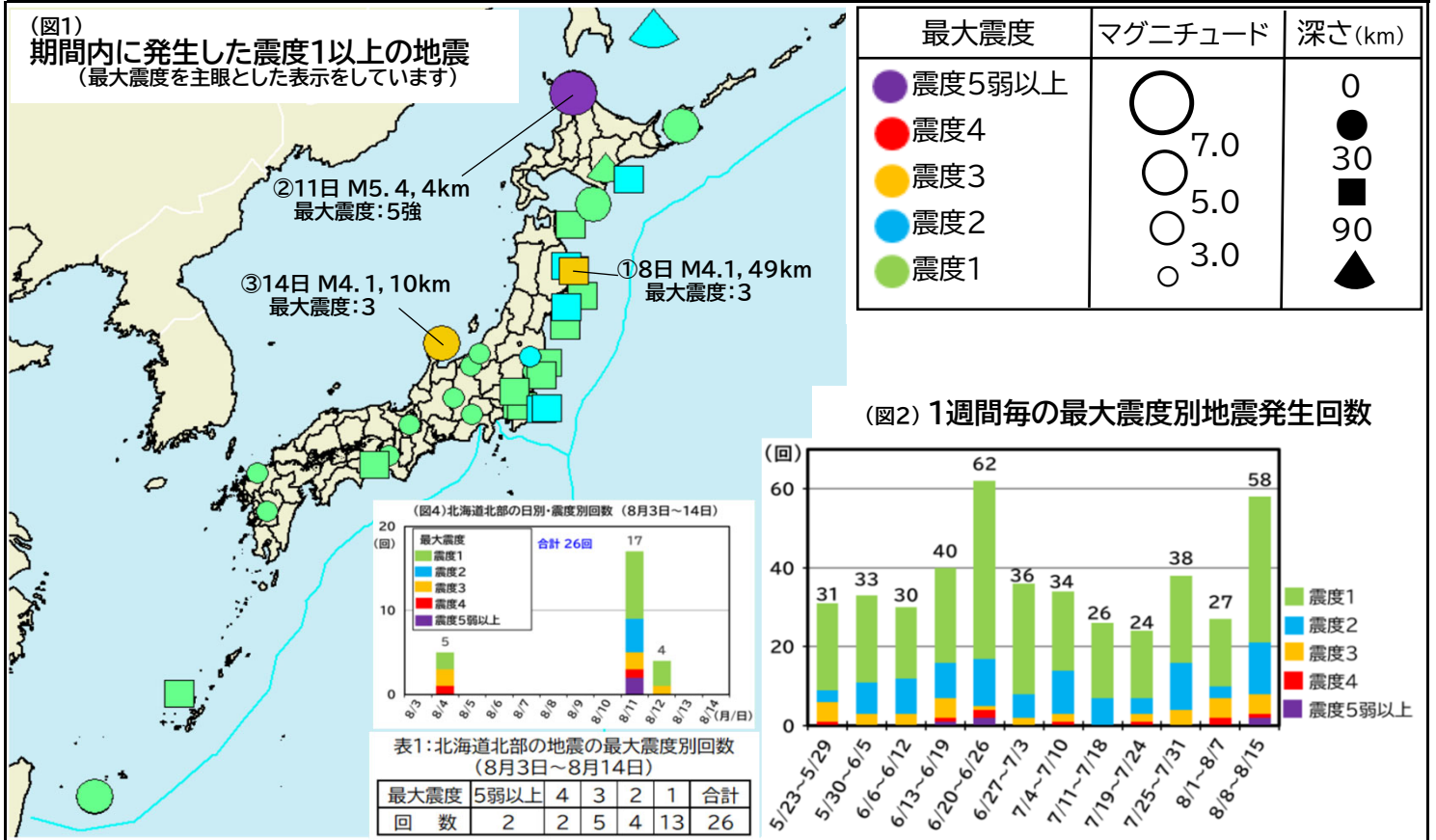


この期間の最大震度は5強(北海道北部で発生)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が58回発生。最大震度は5強(北海道北部で発生)。
- ①8日09時46分に岩手県沖で発生した地震(M4.1、深さ49km)により、岩手県山田町で震度3を観測したほか、青森県から宮城県にかけて震度2~1を観測。
- ②11日00時53分に宗谷地方北部で発生した地震(M5.4、深さ4km)により、北海道中川町で震度5強を観測したほか、北海道で震度4~1を観測。この地震は地殻内で発生した逆断層型。この地震の発生前の11日00時35分にも、ほぼ同じ場所でM5.2の地震(最大震度5弱)が発生した(トピックス参照)。
- ③14日19時14分に石川県能登地方で発生した地震(M4.1、深さ10km:速報値)により、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、石川県と新潟県で震度2~1を観測。2020年12月頃から地震活動が活発化している場所であり、最大震度3以上を観測したのは6月21日以来。

トピックス

■ 北海道北部の地震(続報)と震央地名 ■

- ・11日に最大震度5強を観測した地震の北西約30kmでも、本月4日にM4.1、最大震度4を観測する地震が発生しています(図3)。
- ・この付近は、太平洋プレートの沈み込みなどにより、ほぼ東西方向に圧縮の力がかかっていると考えられており、4日と11日の地震は共に東西方向に押す力が働いていることによって発生した逆断層型の地震です。
- ・この付近の1919年以降の活動を見ると、最大規模の地震は1932(S7)年2月に発生したM5.6で、この付近では大きなMの地震は観測されていませんが、時々、まとまった地震活動が見られる所です。震源が浅いので小さなMでも大きな揺れを伴いますので、揺れに対する注意が必要です。
- ・4日の地震を含めて14日までに震度1以上を観測した数は、図4と表1のとおりで合計26回発生しています。

■震央地名■ 今般の一連の地震について気象庁が発表した地震情報では、震央地名を「宗谷地方北部」、「上川地方北部」、「留萌地方中北部」の3つの地名で発表しています。これは、地震情報で用いる震央地名は図5のように緯度・経度が0.1度刻みの区域として設定されており、一連の地震は青破線で示した3つの震央地名の境界付近で発生したため、地震情報で即時的に発表した地震の発生した場所が、それぞれ3つの震央地名の地域に分かれたためです。なお、地震が発生した場所を詳細に解析した結果、8月4日は宗谷地方北部、11日以降は上川地方北部で発生しています。

